



伝統を受け継ぐ若き力

夕陽

函館市支部会報

発行所

夕陽会 函館市支部
函館市立鍛神小学校
印刷/株島本印刷

「凱旋」などの文字が目についた。彼らも、函館でライブをする意味や、自分た

ら感じ取ることができた。

ライブのオープニングでは、あの「はこだて賛歌」のメロディーが流れた。その瞬間、志高く上京し、二十数年の月日を経て、今ふるさとの地でライブに臨む彼らの思いが伝わってきて胸が詰まった。

報道でも「地元」「ふるさと」「聖地」「凱旋」などの文字が目についた。彼ら

「函館の良さを伝える」「日本の音楽を元気にする」「日本一温かいコンサートを目指す」といった意気込みがあちこちから感じ取ることができた。

ライブのオープニングでは、あの「はこだて賛歌」のメロディーが流れた。その瞬間、志高く上京し、二十数年の月日を経て、今ふるさとの地でライブに臨む彼らの思いが伝わってきて胸が詰まった。

報道でも「地元」「ふるさと」「聖地」「凱旋」などの文字が目についた。彼ら

この夏、GLAYの地元での野外ライブが緑の島で行われた。二日間、道内外から集まった約五万人のファンの熱気が函館を包んでいた。工藤市長も「全国のファンに夢と希望を与え、市民には誇りと勇気をもたらした。函館でもこういうことができるのだと証明してくれた。」と絶賛していた。

「函館の良さを伝える」「日本の音楽を元気にする」「日本一温かいコンサートを目指す」といった意気込みがあちこちから感じ取ることができた。

ライブのオープニングでは、あの「はこだて賛歌」のメロディーが流れた。その瞬間、志高く上京し、二十数年の月日を経て、今ふるさとの地でライブに臨む彼らの思いが伝わってきて胸が詰まった。

報道でも「地元」「ふるさと」「聖地」「凱旋」などの文字が目についた。彼ら

出逢いは、とても不思議な時の贈り物

函館でのGLAY凱旋ライブでのテーマソング「エターナリー」の歌詞そのものの心に残る出逢いがあった。

鍛神小学校に在籍していたTAKUROとJIRO。その二人と児童会の子どもたちとの面会が実現。感激と緊張の中、全校児童四百十六名からの激励のメッセージを届けることができた。

この夏、GLAYの地元での野外ライブが緑の島で行われた。二日間、道内外から集まった約五万人のファンの熱気が函館を包んでいた。工藤市長も「全国のファンに夢と希望を与え、市民には誇りと勇気をもたらした。函館でもこういうことができるのだと証明してくれた。」と絶賛していた。



ふるさと「函館」

夕陽会函館市支部 支部長 三島 千春
(昭和五十四年卒)

「凱旋」などの文字が目についた。彼らも、函館でライブをする意味や、自分た

ら感じ取ることができた。

ライブのオープニングでは、あの「はこだて賛歌」のメロディーが流れた。その瞬間、志高く上京し、二十数年の月日を経て、今ふるさとの地でライブに臨む彼らの思いが伝わってきて胸が詰まった。

報道でも「地元」「ふるさと」「聖地」「凱旋」などの文字が目についた。彼ら

「函館の良さを伝える」「日本の音楽を元気にする」「日本一温かいコンサートを目指す」といった意気込みがあちこちから感じ取ることができた。

ライブのオープニングでは、あの「はこだて賛歌」のメロディーが流れた。その瞬間、志高く上京し、二十数年の月日を経て、今ふるさとの地でライブに臨む彼らの思いが伝わってきて胸が詰まった。

報道でも「地元」「ふるさと」「聖地」「凱旋」などの文字が目についた。彼ら

生まれたい町か、育った町か、学生時代に過ごした町か、いずれも「ふるさと」と定義すると、わが夕陽会員のふるさととは、みな「函館」である。函館を愛する函館市支部千四百名の絆を一層深めていくことが、この度、夕陽会函館市支部長という大役を仰せつかった私の使命である。

母校開学の精神である「土地墾闢」「民蕃殖」を踏まえ、夕陽会本部との連携を強めるとともに、諸先輩のご指導、ご助言を賜りながら、愛する函館で新しい歴史を刻んだGLAYのように、自分は夕陽会の「恩返し」を考えると考えるこの頃である。夕陽とこしえに。

ちの音楽の原点は函館にあること、そして函館に「恩返し」をしたいと熱く語っていたという。

大成功で幕を閉じた凱旋ライブであったが、あらためて彼らの函館に寄せる思い、函館愛に自分の思いを重ねてみた。教職の道を歩み始めた最初の六年間は、胆振・白老町に、教頭になり三年間は、高・旧三石町に勤務していた。函館を離れて初めて「ふるさと」を実感した。帰省する度に、函館山も、巴湾も、横津峰も、昔からの親友も、とても新鮮に感じられたものだ。そこから新たなパワーが生まれ、前に進もうとする原動力になっていた。

生まれたい町か、育った町か、学生時代に過ごした町か、いずれも「ふるさと」と定義すると、わが夕陽会員のふるさととは、みな「函館」である。函館を愛する函館市支部千四百名の絆を一層深めていくことが、この度、夕陽会函館市支部長という大役を仰せつかった私の使命である。

母校開学の精神である「土地墾闢」「民蕃殖」を踏まえ、夕陽会本部との連携を強めるとともに、諸先輩のご指導、ご助言を賜りながら、愛する函館で新しい歴史を刻んだGLAYのように、自分は夕陽会の「恩返し」を考えると考えるこの頃である。夕陽とこしえに。

星の子たちとともに



函館市立
北星小学校長
金谷美也子
(昭和五十四年卒)

北星小学校は、昭和六十三年に若松小学校と巴小学校が合併してできた学校です。二つの学校の良き伝統を受け継ぎ、平成とともに歩んできました。

学校前の通学路には「ほしの子通り」と書かれた看板が並び、子どもたちの登下校を見守ってくれています。まるで「星の子たちが通るから皆気を付けて！」と言っているかのようです。

児童数は年々減少し、今年度は百二十名でスタートしました。毎日グラウンドで年齢を問わずに遊ぶ姿は微笑ましいものがあります。これも日ごろから、縦割

共に…



函館市立
鱒川中学校校長
佐竹 聡
(昭和五十八年卒)

三森山を背に清流鱒川のせせらぎが聞こえる豊かな自然に囲まれ、時にはへびやキツネ、様々な鳥が訪れる鱒川中学校は、以前こんな学校に勤務できたらと密かに思った学校でした。全校児童生徒三十一名という小さな学校ですが、子どもたちは、色とりどりに移り変わる季節をたっぷりと身体に感じながら一人一人の自らの目標をもち、「見つめよう、求めよう、伸ばそう」の達成に向けて、この素敵な環境で、生き生きと学んでいます。そしてそれを支える教職員と保護者である国の子寮の職員がしっかりと

り班での清掃や、異年齢交流の「共遊び」などの活動を大切にしている成果だと思っています。

私は何より職員の和を大切にしたいと思っています。いつも笑い声の聞こえる職員室、笑顔の先生方に迎えられると、子どもたちの心もほぐれて、優しい心が育つからです。しかしこの四月月、温かく思いやりのある先生方に助けられているのは、私の方かもしれません。

学校は、いつ何時、何が起こるかわかりません。「みんながみんな」、先輩から学んだ言葉です。「自分がこの学校に来た意味を考えて」、これも胸に刻んでいます。これからも、夕陽会の大先輩からの数々のご指導を受けながら、校長として、一人の人間として、「星の子たち」とともに成長していきたいと思えます。

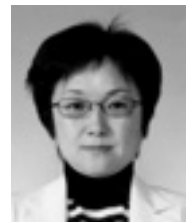
新たな気持ちで

携し一人一人の子どもの実態に応じた指導を継続しています。運動会や文化祭をはじめとする学校行事では、小中学生が協力し合い、併置校の利点を生かしたユニークな行事を創り上げています。

一方、本校は小規模校であり、保護者が国の子寮だけという特殊な環境でもあり、学校、あるいは教職員、そして寮が、最大の教育環境であり、私たちの努力がそのまま子どもたちの成長となっていくなど、ある意味教師冥利につきる学校でもあります。そのため、教職員は、全員が一丸となって、小中の枠を越え、「九年間での子どもをしっかりと育てよう」という共通の目標を掲げ、全員の個別指導計画を立て、日々、努力しています。これからも「この子たちの成長のために」教職員と寮そして地域の皆様と共に努力していきたいと思っています。

今後とも、夕陽会の皆様のご指導ご支援をよろしくお願い致します。

職場の雰囲気大切に



函館市立
北昭和小学校教頭
三津橋ゆかり
(昭和六十二年卒)

函館市立北昭和小学校は全校児童三百十二名、学級数十三学級の小学校で、今年開校三十七年目を迎えます。縁があつて今春からこの小学校で教頭職を仰せつかり、新任教頭として仕事をしております。私を含め、この春、教職員九名の人事異動があり、職員の三分の一が一気に変わったことで、職場の雰囲気も様変わりしたようです。

この一学期は、校長先生をはじめ、周りの先生方に支えていただき、何とか終えることが出来ました。

鱒川ならではの…



函館市立
鱒川中学校教頭
阿部 真之
(昭和六十三年卒)

鱒川中学校は、函館市の中央に位置する四方を豊かな自然に囲まれた函館市内にあっては異色の学校です。春には雪解け水で水位が増えた湿原にエゾアカガエルやエゾサンショウウオの卵が簡単に見つかります。夏は校庭の低木にセミを多数発見することが出来ます。また校庭をキジが歩くことも珍しいことではありません。鱒川地区の子ども達はこの恵まれた自然と地域の皆様の暖かさに抱かれながら伸びやかに成長しています。

ここ十六年、中学校勤務だった私にとって、小学校での入学式、運動会、修学旅行・宿泊研修などの数々の行事は子どもたちの日々成長する姿を実感できる大変良い機会となりました。また、校種が変わることで「学校で学ぶこと・集団で学ぶこと」のよさやすばらしさを改めて認識しています。

本校の学校教育目標もこの四月から新たに、重点目標が「認め合い、励まし合い、ともに学び合う北昭和の子」となりました。児童だけではなく、教職員も一つの組織として「お互いを認め合い、励まし合つてともに成長していける」職場を目指し、日々努力をしています。

夕陽会の皆様にはこれまでたくさんのお指導をいただき、本当に感謝しております。

今後もしっかりと職責を果たして参りますので、これまで同様、御指導・御支援をよろしくお願いいたします。

教頭としての重責と格闘し、自分の力の無さを痛感させられる多忙な毎日にあつても、美しい自然や地域の方々との交流、純朴で元気一杯の子ども達は心の支えになっています。それは「鱒川ならではの」であり、この地に赴任させて頂いたことに感謝の気持ち溢れ出てきます。さて、本校は小中併置を利点と捉え、九力年での育ちを支えようという校長の方針の下、小中間の授業交流や乗り入れ授業、個別指導計画を作成し一人ひとりの児童生徒の育ちと課題を全員でサポートする等、小中職員が一丸となって取り組みを進めています。熱意とアイデアいっぱい教職員の要として、地域や保護者との絆を大切にしながら、職務を果たしていく所存です。

夕陽会の皆様には、昇任にあたり励ましのお言葉やご助言を頂き、誠にありがとうございました。今後ともご指導くださいますようよろしくお願い致します。

新会員になつて

アドバイスを力にかえて



函館市立 宇賀の浦中学校 鈴木 梢 (平成二十年卒)

平成二十年三月、北海道教育大学函館校を卒業し、五年間の期限付き教諭を経て、この春、函館市立宇賀の浦中学校に新採用教諭として赴任いたしました。これまで期限付き教諭として勤務する中で、たくさん先生方から学ばせていただいたこと、かけていただいた言葉のひとつひとつを私自身の力にかえて、これから子ども達とともに成長していきたいと思っています。

一人一人を大切に



函館市立 八幡小学校 工藤 愛香 (平成二十四年卒)

「小学校の先生になりたい」という夢を抱いて早十七年、平成二十四年三月に北海道教育大学函館校を卒業し、一年間の期限付き教諭を経て、この春、函館市立八幡小学校で勤務させていただいております。期限付き教諭の一年間お世話になりました八幡小学校で子どもたちと共に学び続けられる喜びを感じながら、毎日を過ごしております。

日々挑戦



函館市立 北昭和小学校 加藤 慈子 (平成二十四年卒)

平成二十四年三月、北海道教育大学函館校を卒業し、一年間の期限付きを経て、おかげさまでこの春、函館市立北昭和小学校に赴任いたしました。周りの先生方に迷惑をおかけしながら、日々子どもたちと向き合い、楽しさややりがいを感じて過ごしております。

教員としての第一歩



函館市立 八幡小学校 柏 友里恵 (平成二十五年卒)

この春、北海道教育大学函館校を卒業し、函館市立八幡小学校に赴任いたしました。大学と目と鼻の先にあるこの学校で、小学校教員としての第一歩を踏み出しました。現在、三年生三十七人の担任として、忙しくも充実した日々を送っております。

現在は、特別支援学級の担任として児童一人一人の特性に合わせた教材の研究、授業づくりに努めています。児童の行動や反応を注意深く見つけ、どうしてそのような反応をしたのか、という問題意識を常に持ち、その子にとって効果的な支援を考え実践していくことに力を入れています。

しかしながら、日々授業をしていく中で児童に的確な指示を出すことができず、児童を困惑させてしまうことも多く、自分の未熟さを実感する毎日です。そんな時、多くの先生方からのアドバイスが私を支えてくれます。日々励ましをしていただき感謝の気持ちでいっぱいですが、まだまだ未熟者ではありますが、子どもたちと共に学ぶことのできる喜びを感じながら、今後も自己研鑽に励んでいく決意です。

現在、三年生の担任をしています。日々課題に直面しています。教科指導はもちろん、学級経営においても一つ一つ綿密な計画と見通しを持って指導することの大切さを実感しています。自分の力不足や準備不足を感じることもたくさんあります。そうした時に、いつも周りの先生方の温かい励ましや助言を頂き、ここまで過ごしてきました。そして何より、子どもを目の前にすると、自分の不安な気持ちや吹き飛び、自然と笑顔になつている自分があります。まだまだ未熟ですが、子どもと共に学び続ける教師になれるよう努力をしていきたいと思っております。

最後となりますが、夕陽会の諸先輩方の皆様には、ご指導やご支援をいただきたく場面も多くあるかと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

最後となりますが、夕陽会の諸先輩方の皆様には、ご指導やご支援をいただきたく場面も多くあるかと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、これから続く教員生活の中で悩みは尽きないと思っております。夕陽会の諸先輩方、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

- 一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。
- 二、幹事と若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。
- 三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。
- 四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。
- 五、広報活動の充実を図り、地域に貢献できる組織を目指す。

母校開学の精神「土地墾闢・人民蕃殖」の精神を確かめ、支部会員の資質向上と親睦の和を深めることを目指した会務の運営に努める。
あわせて夕陽会の充実発展に寄与する。

平成25年度 支部 運営方針

- 二、主な業務内容**
- 一、支部総会
 - 二、受賞祝賀会
 - 三、支部会報の発行
 - 四、新入・転入会員激励会
 - 五、役員会、学校幹事会
 - 六、本部事業への協力(総会・懇親会・その他)
 - 七、会費(本部会費・支部会費)の集約
 - 八、特別業務
 - 結婚会員へのご祝儀・祝電
 - 逝去会員へのご香典・弔電
 - 受賞会員、昇任会員への祝電

○顧問

氏名	氏名	卒業年次	氏名	卒業年次
元支部長 川島孝夫	元支部長 藤谷利春	31年卒	元支部長 板東忠康	32年卒
元支部長 池上信廣	元支部長 齊藤正宏	37年卒	元支部長 寺岡昭治	39年卒
元支部長 伊藤皓嗣	元支部長 小山内武弘	42年卒	元支部長 三島俊博	44年卒
元支部長 碓幸信	元支部長 青木昌史	47年卒	元支部長 田邊信之	49年卒
前支部長 青木昌史	前支部長 田邊信之	53年卒	中学校長 田邊信之	51年卒
小学校長 大 堂 讓		53年卒		

●支部役員・業務内容

○役員

役職	氏名	卒業年次	所 属
支部長	三島 千春	54年卒	函館市立鍛神小学校
副支部長	風間 和夫	57年卒	函館市立白尻中学校
監査	加賀 重仁	62年卒	函館市教育委員会
	真崎不二彦	28年卒	函館護国神社司宮
	木村 雅彦	59年卒	函館市立港中学校
	紺野 克典	61年卒	函館市立東山小学校
	高間 猛	62年卒	函館市立鍛神小学校
幹事長	山本 良子	60年卒	函館市立日吉が丘小学校
副幹事長	山本 公作	平2年卒	函館市立鍛神小学校

平成24年度 一般会計決算書

1. 収入の部

項 目	24年度予算額	24年度決算額	増減(▲)	摘 要
会費	785,000	772,000	13,000	772名×1,000円
年会費	30,000	22,000	8,000	年次会員 22名
繰越金	100,235	100,235	0	
繰入金	120,000	120,000	0	前納会計から
補助	0	50,000	▲ 50,000	本部より
雑収入	265	13,595	▲ 13,330	利子 寄附
合計	1,035,500	1,077,830	▲ 42,330	

2. 支出の部

項 目	24年度予算額	24年度決算額	増減(▲)	摘 要
事務費	110,000	93,570	16,430	コピー代、用紙、封筒
事業費	440,000	426,880	13,120	会報、広告代、案内状等発送
会議費	230,000	218,117	11,883	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	180,000	149,689	30,311	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	55,000	58,632	▲ 3,632	各種会費等振込手数料
雑費	5,500	0	5,500	
予備費	15,000	0	15,000	
合計	1,035,500	946,888	88,612	

(収支決算)

収 入	支 出	残 高
1,077,830	946,888	130,942

平成24年度 前納会計決算書

(収支状況)

前年度残高	2,707,043
H24年度納入額	80,000
利子収入	666
一般会計へ	120,000
合計	2,667,709

(残高明細)

種 類	
普通預金 1	2,202,632
普通預金 2	465,077
合計	2,667,709

平成25年度 一般会計予算書案

1. 収入の部

項 目	24年度予算額	25年度予算額	増減(▲)	摘 要
会費	785,000	780,000	▲ 5,000	780名×1,000円
年会費	30,000	20,000	▲ 10,000	年次会員
繰越金	100,235	130,942	30,707	
繰入金	120,000	120,000	0	前納会計から
補助	0	30,000	30,000	本部より
雑収入	265	258	▲ 7	利子
合計	1,035,500	1,081,200	45,700	

2. 支出の部

項 目	24年度予算額	25年度予算額	増減(▲)	摘 要
事務費	110,000	120,000	10,000	コピー代、用紙、封筒
事業費	440,000	450,000	10,000	会報、広告代
会議費	230,000	250,000	20,000	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	180,000	180,000	0	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	55,000	60,000	5,000	各種会費等振込手数料
雑費	5,500	10,000	4,500	
予備費	15,000	11,200	▲ 3,800	
合計	1,035,500	1,081,200	45,700	

平成25年度 前納会計予算書案

(収支状況)

前年度残高	2,667,709
H25年度納入額	100,000
一般会計へ	120,000
合計	2,647,709

附属中	附属小	白尻中	日新中	北花中	桐花中	赤川中	戸倉中	五稜中	深堀中	大川中	大船小	白尻小	鍛法華小	えさん小	日新小	戸井西小	本通小	中央小	中田小	亀田小	中の沢小	鱒川小	亀尾小	湯川小	北日吉小	金堀小	柏野小	千代田小	万年橋小	八幡小						
郡司直孝	神野藤	杉林あゆみ	若山あゆみ	嵐田美佳	坂田耕士	三賀徳久亨	加賀慶一	渡部安司	白花田卓	中村美香子	見延誠一	田村舞稔	茶碗戸寿勝	一原三悦夫	大佐幸仁	西藤さおり	村山裕代	小林康史	伊藤明子	新谷みどり	庄司知哉	野橋祐子	星澤佳寿子	西崎好之志	佐藤仁志	黒田俊一	村上堅巳	木代文実	竹内恵子	長谷川文子	大室譲					
H18	H15	H18	H17	H14院	S52	S57	S60	H2	H14	H13	H9	S63	S58	H17	S54	H12	S58	S62	S54	S58	S55	H4	H6	H14	H7	S59	H13	H10	S62	S54	H52	H10	H12	H7	H1	S53

● 転入会員

桔梗小	石崎小	東岡小	旭湯川小	上湯川小	高丘小	湯川小	北日吉小	日吉が丘小	深堀小	駒場小	金堀小	柏野小	千代田小	中島小	千代ヶ岱小	高盛小	港盛小	万年橋小	八幡小	北星小	中部小	あさひ小	青柳小	弥生小
木崎裕美	佐藤智	松浦学	田村来弘	横山智弘	上平義広	村田義俊	鈴木克俊	新榮正道	佐藤教史	池野実千代	吉田里久	伊藤恵子	中嶋とも子	吉田好美	佐々木将大	三浦貴実	齐藤雅人	土井光史	酒井史子	築田綾典	川森敏典	工藤春佳	寺澤朋子	永井朋子
20	4	6	11	8	13	13	12	16	12	11	12	12	8	9	6	7	14	6	13	5	9	12	10	9

● 各学校幹事

八幡小	北昭和	八幡小	宇賀の浦中
柏友里恵	加工藤慈子	鈴木愛香	鈴木香梢
H25	H24	H24	H20

● 新採用会員

桔梗中	赤川中	銭亀沢中	鱒川中	亀尾中	旭岡中	戸倉中	湯川中	深堀中	的場中	光成中	港成中	大川中	五稜中	凌雲中	宇賀の浦中	潮見中	西船中	大船小	白尻小	磨光小	鍛法華小	えさん小	日新小	戸井西小	南本通小	本通小	東山小	神山小	鍛神小	北美原小	中央小	赤川小	亀田小	昭和小	北昭和小	中の沢小
村井秀行	高井太郎	畑有也	山本もとこ	二本柳基枝	近藤太資	瀧澤啓博	松川貴功	増地泰司	菊地樹	森間広淳	本野清孝	辻小野猛	葛西美智子	鈴木美智子	高橋舞勝	長峰寿健	大村戸勝	田村戸勝	一佐藤和子	小丹治恵	丹治恵	西谷さおり	鎌田尚吾	宮本優太	小林有里恵	安彦美穂	佐藤健吾	須藤文平	酒井庸平	澤田己育	川股みどり	庄司和子	藤原友和	加藤慈子	奥平真紀	
11	17	6	11	3	6	11	14	11	13	4	9	6	8	8	7	5	3	6	5	6	7	5	4	3	10	11	19	15	17	18	16	8	13	17	14	12

分掌	氏名
総務部	○高間 猛・山本 公作 村岡 圭介・打越 亮介
庶務部	○小井田成美・高橋久美子 宇佐美美樹子・神田 郁子 一戸久美子・山下 小幸 ソーントン美弥子
広報部	○青山 勝賢・村田 嘉子 小石 優子・遠山 剛史
会計部	○高間 猛・須藤 健吾



● 支部事務局体制(鍛神小学校)

函館市教育委員	若林慎也	6
教育大学	松浦俊彦	11
附属函館中	郡司直孝	13
附属函館小	伊藤実光	12
はこだて幼	戸澤裕美枝	2
白尻中	杉林あゆみ	4
尾札部中	中林雄大	6
鍛法華中	小佐藤元貴	5
恵山新中	長澤一博	6
日光中	山口詠博	7
潮光中	山詠男子	6
北室中	三室智廣	12
本通中	福士敏也	20
桐花中	磯波理也	7
亀田中	星野敬一	21

夕陽会函館市支部規約

第一条 この会は、北海道教育大学夕陽会函館市支部と称する。(夕陽会函館市支部と略称する。)

第二条 この会の事務局は、支部長の勤務先に置く。

第三条 この会は夕陽会会則に基づき、支部会員相互の親睦と発展を図ると共に、地域の教育・文化の進展に寄与することを目的とする。

第四条 この会は、その目的を達成するため次のことを行う。

一、総会

二、懇親会

三、会員の慶弔に関すること

四、支部会報の発行

五、教育研究諸会合

六、その他必要と認められるもの

第五条 この会は、函館市及びその近郊に在住する次の各号に該当する者をもって会員とする。

一、北海道函館師範学校卒業生

二、北海道第二師範学校卒業生

三、北海道学芸大学函館分校卒業生及び修了生

四、北海道教育大学函館分校卒業生及び修了生

五、北海道教育大学函館校卒業生及び大学院修了生

六、母校に在学した者(講習科、養成所も含む)

第六条 この会の役員は次のように定める。

一、役員

(一) 支部長 一名

(二) 副支部長 二名

(三) 幹事長 一名

(四) 副幹事長 若干名

(五) 幹事 若干名

(六) 監査委員 三名

二、選出方法 (一) 支部長、監査委員は選考委員により選考し、総会の承認を求めらる。

(二) 副支部長、幹事長、副幹事長は支部長が委嘱し、総会の承認を求めらる。

(三) 幹事は、勤務先その他ブロック毎に一名を選出し、支部長が委嘱する。

三、任務

(一) 支部長は、支部を代表し会務を統理する。

(二) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故ある時はこれを代行する。

(三) 幹事長は、支部長の命を受け、会務を処理する。

(四) 副幹事長は、幹事長を補佐する。

(五) 幹事は、勤務先その他ブロックを代表し、会務を分担する。

(六) 監査委員は、支部の会務及び会計を監査する。

四、任期

(一) 支部長、副支部長、監査委員は二年とする。

(二) 幹事長、副幹事長、幹事は一年とする。

(三) 欠員による補充役員は、前任者の残任期間とする。

(四) 再任は妨げない。

第七条 この会は、顧問を若干名置くことができる。

一、顧問は、この会の重要な事項に

関し支部長の諮問に応じる。

二、顧問は、支部長が委嘱する。

第八条 この会の会議は、次のように定める。

一、総会 (一) 定期総会は、年一回支部長が招集し、会務、会計、規約、役員、その他の議題を審議する。

(二) 臨時総会は、必要に応じて支部長が招集し、定期総会に準じて行う。

二、幹事会 必要に応じて支部長が招集し、この会の基本的な事項について協議し遂行する。

三、その他、必要とするもの。

第九条 この会の収入は、次の通りとする。

一、会費

(一) 通常会費は、年額一、〇〇〇円とする。

(二) 前納会費は、別途規定を設ける。

二、寄附金

三、事業による収益金

四、その他

第十条 この会の支出は、次の通りとする。

一、会議その他事業費一般

二、懇親会その他会合費

三、慶弔費

(一) 会員の結婚は祝儀五、〇〇〇円と祝電

(二) 会員の受賞、栄進等は祝電

(三) 会員の死亡は香典五、〇〇〇円と弔電

(四) その他必要なものは、支部長、副支部長、幹事長の協議による。

第十一条 この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

付則 平成五年四月十七日 改正
平成九年四月十九日 改正
平成十三年四月二十一日 改正
平成十八年四月十五日 改正

支部受賞祝賀会・
会員懇親会のお知らせ
日時：来春 二月二一日(金)
午後六時三〇分より
会場：ロワジールホテル函館
※支部最大の行事です。たくさん
の参加者で大いに盛り上げてい
ただけるようお願いいたします。

事務局だより

◇ 函館市支部会報八四号ができてあがり
ましたのでお届けいたします。
本会報の発行に際し、ご多用中にも
かわからず、原稿依頼を快くお引き受
けくださった方々に感謝申し上げます。
去る五月一六日(木)、「新会員・転
入会員・幹事懇親会」をホテル法華ク
ラブ函館で開催いたしました。夕陽会
会長橋田様によるご祝辞、小山内顧問
による祝杯で懇親会が始まりました。
新会員、転入会員の方お一人一人か
ら、近況報告もかねてご挨拶いた
だきました。その後、本支部の礎顧問
より新会員の方々に励ましのお言葉が
あり、非常に温かい雰囲気の中で時間を
忘れるほど盛会の内に終了することが
できました。

◇ 本支部では、民間の同窓生を組織す
る取組に力を入れていきます。今年、本
学を卒業し市内で働いている方を
知でしたらご紹介ください。

◇ 各学校幹事の皆様へ
今年度の各学校の会員名簿作成、本
部総会・大懇親会の参加者名簿の提出
会費・大懇親会費の納入、本部会報の
配付等、ご協力に感謝申し上げます。

◇ 会員の慶弔がございましたら、事務
局の高間までご一報ください。

夕陽会函館市支部 事務局
〒041-0852 函館市鍛冶二丁目四六番四号
函館市立鍛神小学校内
電話番号(〇一三八)五一―四五〇三
FAX番号(〇一三八)五一―四四二四